

歴代会長

初代	伊東 由松	四代	千葉 順三	七代	花房 昌弘
二代	塚本 元信	五代	斉藤 政一	八代	橋本 茂男
三代	桑原 由太郎	六代	夏苺 英二	現在	斉藤 金造

町会のあゆみ

1931年（昭和6年）江古田3丁目町会設立。1942年（昭和17年）現在地に町内有志の協力によって三丁目会館が建設されました。終戦後も町民の拠り所としての役目を果たしてきました。

戦時中活躍してきた各町会は、戦後、GHQの政策により、町会制度が解体されました。しかし、住民の生活には事実上、住民組織は不可欠であり、各地で生活文化振興として公民館活動が始まりました。三丁目町会も会館の土地、建物を登記するため、1955年（昭和30年）社会教育法に基づく「社団法人旭公民館」という法人組織になり町会名も「旭公民館」（町会）に変更しました。1957年（昭和32年）には、中野区町会連合会に加入しました。

2008年（平成20年）公益法人制度改正により、公益活動は、よりいっそうの拡大が求められる内容になっており、次世代の町会員に社団法人としての引き渡しは困難と判断し、一般の地縁団体の町会へ移行することにしました。2010年（平成22年）社団法人所有の不動産及びその他の全財産を新町会へ移行し、4月1日より地縁団体としての旭公民館町会がスタートしました。

町会の活動

町会には、衛生部、防犯交通部、防火部、婦人部があり、消毒、交通整理、防災訓練、レクリエーション、施設の奉仕活動、ラジオ体操、盆踊り、祭礼への参加など様々な活動を行っています。

平成30年、江古田3丁目に画期的な複合タウンが生まれる

広大な江古田の森公園に隣接する公務員住宅の跡地に積水ハウスによる、住宅・医療施設・高齢者ホーム・子育て施設など、子どもを軸にした持続可能な街づくりが進んでいます。当町会でも、新しい住民の受け入れ体制について、住宅販売会社の担当者と継続的に話し合いの場を持っています。

人と人とのつながりを大切にする町

旭公民館町会には、江戸時代、将軍の鷹狩りの休憩所であった東福寺があります。また、江古田氷川神社には、『江古田獅子舞』という中野区の無形文化財があります。貴重な郷土芸能であり次世代に継承していく責任があります。同時に祭りは地域の人たちを繋ぐきづなになっています。町会には住民が運営している、まちなかサロン「あさひの家」と「ほんだ山」があります。男性も気軽に立ち寄れる憩いの場です。これからは住民自身が意識して人と付き合い、近隣の人と気軽に声を掛け合える、そういう関係を作っていくことが大切です。



旭公民館 平成28年11月